

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	水辺に人が集まるまちづくり～吉野川を挟んだ水際交流拡大プロジェクト～		
(2) 実施団体名	NPO法人 新町川を守る会	(3) 対象地域	徳島県徳島市、鳴門市、北島町、松茂町の川辺地域(新町川、助任川、吉野川、旧吉野川、今切川、撫養川及び支流)
(4) 代表団体名		(5) 推薦団体名	徳島市、鳴門市、北島町

(6)実施した取組の内容	取組①	撫養航路の新設	
	実施主体	NPO法人 新町川を守る会	
		当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
	実施内容、実施結果	<p>①撫養航路の実験的運航 【実施時期】平成20年9月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組概要】徳島市及び鳴門市・北島町との連携を河川を通して深めるため、撫養航路(吉野川を挟む徳島市と鳴門市・北島町を結ぶクルーズ船)を、週1回午前中に1往復運航(定員26名、クルーズ船2隻使用)。</p> <p>②発着場での浮き桟橋(撫養地区1ヶ所)及び案内板(新町地区、撫養地区各2ヶ所)の設置 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区、鳴門市撫養地区 【取組概要】船着き場が無い撫養地区に撫養航路実験運航用の浮き桟橋設置。実験運航PRに船着場(新町地区、撫養地区)～案内板設置。</p> <p>③航路の安全運航に向けた調査 【実施時期】平成20年9月～平成20年10月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組概要】運航の安全確認のため、想定ルートでクルーズ船試験運航。運航ルート図作成。</p> <p>④クルーズ船操縦者の育成 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区 【取組概要】定期運航に向けた操縦者育成のため、操縦免許取得講習会受講(10名)。船上案内等ガイド研修会開催。</p> <p>⑤航路のPR及び予約システムの構築 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組概要】航路PR用ポスター(A1判100枚)作成及び告知。インターネットによる乗船予約システム構築。</p>	<p>①撫養航路の実験的運航 【実施時期】平成20年9月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】土曜日、日曜日を中心に、週1～2回(原則として午前中に1往復)の運航を実施中。(定員13名のクルーズ船を1～2隻使用)。平成21年3月末まで全35便運航見込み。(平成20年1月20日現在約360名乗船)</p> <p>②発着場での浮き桟橋(撫養地区1ヶ所)及び案内板(新町地区、撫養地区各2ヶ所)の設置 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】撫養地区に浮き桟橋設置済み。運航PRに船着場(新町地区、撫養地区)に案内板設置済。</p> <p>③航路の安全運航に向けた調査 【実施時期】平成20年9月～平成20年10月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】試験運航の実施で航路の安全確認。運航ルート図作成。</p> <p>④クルーズ船操縦者の育成 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区 【取組の結果】操縦免許取得講習会は3名受講。ガイド研修会を2月に開催予定。</p> <p>⑤航路のPR及び予約システムの構築 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】航路PR用ポスター(A1判100枚)を作成し、現在配布及び掲示継続中。インターネットによる乗船予約システム構築作業中(2月より稼働予定)</p>
	取組②	新町地区、撫養地区それぞれでの朝市の同時開催と連携	
	実施主体	NPO法人 新町川を守る会 (連携:徳島商工会議所、鳴門市青空市の会)	
		当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果
	実施内容、実施結果	<p>①新町地区及び撫養地区発着点付近での開催場所等の検討・調整 【実施時期】平成20年9月～平成20年10月 【実施場所】徳島市新町地区、鳴門市撫養地区 【取組の目的】徳島市新町地区で商工会議所が中心に計画中の朝市、鳴門市撫養地区で30年続いている朝市を、撫養航路で連携するべく、関係者(徳島市商工会議所、鳴門市青空市の会等)との検討・調整会議の開催(5回程度)</p> <p>②徳島市新町地区における朝市(商工会議所主催)と連携した水上マーケットの開催 【実施時期】平成20年12月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区 【取組の目的】徳島商工会議所主催朝市「徳島わくわく日曜日」と連携した水上マーケット「朝釣り漁師市」を12月以降、隔週日曜日に開催。</p> <p>③朝市でのおいしい郷土料理(朝ごはん)の販売とクルーズ船上での食事機会の提供 【実施時期】平成20年12月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の目的】朝市出店者との調整による料理(朝ごはん)の試作・販売</p>	<p>①新町地区及び撫養地区発着点付近での開催場所等の検討・調整 【実施時期】平成20年10月～平成21年2月 【実施場所】徳島市新町地区、鳴門市撫養地区 【取組の結果】関係者(徳島市商工会議所、鳴門市青空市の会等)との打合せにより、それぞれの活動内容の確認及び具体的な連携による取組について協議を実施。(現在3回開催。今後2回程度実施予定)</p> <p>②撫養航路と鳴門市青空市、ウチノ海新鮮市との連携及び徳島わくわく日曜日と連携した水上マーケットの開催 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区 【取組の結果】新町地区船着場の台船上で、10月から開催している「朝釣り漁師市」を、「徳島わくわく日曜日」と同日開催(毎月最終日曜日)継続実施中。平成21年3月末まで全6回開催見込み(10月31日、12月19日、12月21日、1月25日、2月22日、3月22日)。</p> <p>③地元産品を使った船上で提供する軽食メニューの試作と提供 【実施時期】平成20年12月～平成21年3月(継続検討中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】朝市出店者及び徳島大学との連携による船上で提供する軽食メニューの試作継続中。(12月14日鳴門地域交流会にて、試食会開催)</p>

	<p>取組③ 航路沿岸の資源・景観調査 実施主体 NPO法人 新町川を守る会（連携：徳島市、徳島大学）</p>	<p>当初提案により予定していた計画</p>	<p>実際の取組内容及びその結果</p>
	<p>実施内容、実施結果</p> <p>①撫養航路を楽しんでいただくための航路沿岸の資源調査及び景観調査 【実施時期】平成20年9月、11月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の目的】観光資源として活用できる地域資源の発掘や、水辺の良好な景観として守るべきもの、直していくものなどを抽出するための景観調査を9月と11月の2回実施。</p> <p>②撫養航路乗船客へのアンケート調査 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の目的】撫養航路乗船客に、航路や景観に関するアンケート調査実施(500名以上を想定)。</p> <p>③撫養航路の見所を紹介するマップの作成 【実施時期】平成21年2月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の目的】資源調査及び景観調査の結果を踏まえ、撫養航路の見所紹介マップ(A3判両面カラー2,000部)作成。</p>	<p>①撫養航路を楽しんでいただくための航路沿岸の資源調査及び景観調査 【実施時期】平成20年10月以降継続中 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】船上からの景観調査、航路周辺の資源調査に関し、現地調査、資料調査を実施し、現在取りまとめ作業中。徳島大学総合科学部地域システムコース地域調査実習(矢部准教授担当)との連携により調査を実施。</p> <p>②撫養航路乗船客へのアンケート調査 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】乗船いただいた感想や意見に加え、今後の自立した運航に向け、適正な料金設定についても意見聴取。現在317名から回収。集計とりまとめ作業中。</p> <p>③撫養航路の見所を紹介するマップの作成 【実施時期】平成21年2月～平成21年3月(作成作業中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】資源調査及び景観調査結果ととりまとめ次第マップ(A2判両面カラー2,000部)作成予定。(※掲載したい情報量を踏まえ、マップの仕様を当初のA3版からA2版に変更)</p>	
(6)実施した取組の内容	<p>取組④ 新規航路の調査及びシンポジウムの開催 実施主体 NPO法人 新町川を守る会（連携：徳島大学）</p>	<p>当初提案により予定していた計画</p>	<p>実際の取組内容及びその結果</p>
	<p>実施内容、実施結果</p> <p>①次年度以降航路を拡大するための調査 【実施時期】平成21年1月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の目的】新規航路開設に向け、地域資源及び拠点調査(新町地区(徳島市)⇄阿波十郎兵衛屋敷(徳島市)、藍の館(藍住町)、水辺プラザ(北島町))実施。</p> <p>②水辺のまちづくりをテーマとしたシンポジウムの開催 【実施時期】平成20年10月～平成21年3月 【実施場所】徳島市新町地区、鳴門市撫養地区、北島町地区 【取組の目的】今年度の活動を広くPRし、市民及び周辺地域の水辺に対する関心を高めるとともに、次年度以降、周辺の水辺との連携を拡大していくためシンポジウムを開催(徳島市、鳴門市、北島町内で各1回ずつ計3回。各100人規模)。</p>	<p>①次年度以降航路を拡大するための調査 【実施時期】平成21年1月～平成21年3月(継続実施中) 【実施場所】徳島市新町地区～鳴門市撫養地区 【取組の結果】2月～3月にかけて、水辺プラザ(北島町)、藍の館方面(藍住町)、阿波十郎兵衛屋敷(徳島市)、及び小松島港方面への新規航路開設に向けた航路調査を実施予定。</p> <p>②水辺のまちづくりをテーマとしたシンポジウム『撫養航路水際交流会』の開催 【実施時期】第1回交流会(鳴門市):平成20年12月14日開催済 第2回交流会(北島町):平成21年1月24日(開催予定) 第3回交流会(徳島市):平成21年2月28日(開催予定) 【実施場所】鳴門市:鳴門地域地産産業振興センター、北島町:北島町役場、徳島市:会場未定 【取組の結果】鳴門市交流会参加者80名(実績)、北島町交流会参加者50名(見込み)、徳島市シンポジウム参加者100名(見込み)</p>	
(7)実施体制	<p>平成20年度の取組実施における体制・役割分担</p>		<p>取組の実施を踏まえた反省点</p>
	<p>この図表は、平成20年度の取組実施における体制・役割分担を示しています。中心には「NPO法人 新町川を守る会」があり、その活動を支える役割分担が示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土交通省(河川管理者): 指導・許可可 徳島商工会議所(徳島市新町地区での朝市を主催): 連携 宿泊事業者: 旅行商品としての提供 新町地区商店街: 参画 撫養航路周辺の市民や事業者: 参画 徳島市都市デザイン室: 連携 徳島大学 総合科学部 矢部研究室: 連携 行政: 徳島市、鳴門市、北島町、徳島県 国土交通省(河川管理者): 支援・協力 専門家: 安全運航に向けた指導・運航ルート図の作成 徳島市青空市の会(鳴門市撫養地区での朝市を主催): 連携 パシフィックコンサルタンツ(株): 活動企画・記録、撫養航路の資源・景観調査及び新規航路の資源調査支援、シンポジウムの企画・運営等支援、成果の分析、今後の課題検討 	<p>取組① 撫養航路の新設 主体:NPO法人新町川を守る会 指導・許可可:国土交通省 支援・協力:行政機関</p> <p>取組② 朝市の同時開催と連携 主体:NPO法人新町川を守る会 連携:徳島商工会議所、鳴門市青空市の会、宿泊事業者 出店:新町地区商店街等</p> <p>取組③ 航路沿岸の資源・景観調査 主体:NPO法人新町川を守る会 連携:徳島大学、徳島市 参画:撫養航路周辺市民、事業者 支援・協力:行政機関</p> <p>取組④ 新規航路の調査及びシンポジウムの開催 主体:NPO法人新町川を守る会 連携:徳島大学 支援・協力:行政機関</p>	

- 取組① 撫養航路の新設**
- ・撫養航路の運航そのものは、新町川を守る会スタッフが実施した。
 - ・運航及び桟橋の設置に関して、国土交通省の許可を得た。
 - ・開門では、水資源機構の協力を得て、開門を開閉していただき、通過した。
 - ・鳴門市役所の協力を得て、市役所敷地内に撫養航路の看板を設置した。
- 取組② 朝市の同時開催と連携**
- ・鳴門市青空市の会(毎週日曜日)及び鳴門市ウチノ海新鮮市(第1土曜日)の2つの朝市開催日に合わせて撫養航路を運航し、連携を始めている。
 - ・徳島側では、12月21日より紺屋町にて徳島わくわく日曜市が月1回のペースで始まり、地域産品を扱う店舗が出店。新町川を守る会では、新町川の桟橋上で当日朝釣り上げた魚を販売する朝釣り漁師市を、同時開催。
- 取組③ 航路沿岸の資源・景観調査**
- ・船上から見る景観資源、及び航路周辺の資源調査、及び見所紹介マップの作成を実施(作業中)。
 - ・徳島大学総合科学部地域システムコースの地域調査実習のテーマとして、当事業を取り上げ、実習生15名が景観・資源調査に参画。
 - ・徳島市内に関しては、徳島市都市デザイン室における景観形成の考え方との整合を検討予定。
- 取組④ 新規航路の調査及びシンポジウムの開催**
- ・鳴門市におけるシンポジウム開催に際しては、鳴門市役所の協力を得て地域活動団体を紹介いただくとともに、各団体の代表及びメンバーにシンポジウムに参加いただいた。
 - ・北島町においても、同様に町役場及び町内活動団体の協力・参画を得ている。
 - ・2月28日に徳島市内で開催予定のシンポジウムにおいては、徳島市役所及び徳島～鳴門にかけての地域活動団体に参画を要請する予定。

(8)取組により得られた成果	○成果1→ 水辺を楽しむ来訪者(特に宿泊客)を増加させる。	
	H19 遊覧船乗客数(県外) 1万人	H20(当初予定していた目標) 1.5万人
	H20(実際に得られた成果) ◆当初予定の遊覧船乗客数(県外)1.5万人→実際の遊覧船乗客数(県外)約1.3万人(平成21年1月現在) ・撫養航路については、現在のところほとんどが県内からの乗船客で占められている。運航の情報が早く伝わった比較的近隣のお客様で予約が一杯となり、県外の方を受け入れる余裕がこれまではあまりなかったのが現状となっている。 ・撫養航路については、現在インターネットによる予約システムを構築中であり、季節が春～夏へと暖かくなってくれば、撫養航路への県外からのお客様は増加すると予想される。 ・一方継続して運行中のひょうたん島クルーズについては、撫養航路の評判もあって乗船客は増加しており、乗船客全体に占める県外客も増加していることから、水辺を楽しむ来訪者の増加に対する成果が得られた。	
	○成果2→ 水辺空間の魅力向上に取り組み、来訪者を楽しませる活動をする人を増加させる。	
H19 NPO会員数 290人	H20(当初予定していた目標) 350人以上	
H20(実際に得られた成果) ◆当初予定のNPO会員数350人以上→実際のNPO会員数約300人(平成21年1月現在) ・撫養航路については、今年度まだ事業途中であり、積極的な会員募集活動を展開していないため、会員の増加は限定的であるが、今後鳴門市、北島町及び徳島市内の市民や活動団体との連携交流を深める中で、会員の増加につなげていく予定。 ・鳴門市で開催したシンポジウム(交流会)には、鳴門市内における活動団体のメンバーを中心に約60名に参加いただき、具体的な相互連携の動きが出てきており、1月24日開催予定の北島町でのシンポジウム(交流会)、2月28日開催予定の徳島市でのシンポジウムにおいても、撫養航路に関心を寄せていただく市民、活動団体に参加いただく予定となっていることから、水辺空間の魅力向上に取り組む活動の具体的な連携が今後深まっていくことが期待される。		
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	○撫養航路の運航における反省点・改善点 ・屋根のないクルーズ船での運航であり、冬季はどうしても乗船客が少なくなってしまうため、今後春～夏にかけて、便数を増やした実験運航を継続したい。 ・インターネットを活用したPR・予約システムの本格稼働を受け、撫養航路への県外からの乗船客の割合を増やす。 ・現在はお客様に往復で乗船いただく乗船メニューのみであり、今後は片道での乗船や途中下船も可能とするよう、乗船メニューを充実させたい。 ・今年度は、当調査費を活用した無料運航(但し、保険料100円はお客様負担)としたが、今後の自立した運航に向け、アンケート調査結果を踏まえた料金設定を検討したい。 ○朝市の同時開催と連携における反省点・改善点 ・徳島と鳴門で、朝市が同時開催できるのが、現状は月1回であるため、徳島側での朝市の拡大により、同時開催できる日を増やし、互いの相乗効果を一層高めていきたい。	・鳴門市の青空市が、桟橋からやや離れているため、鳴門地域と連携しながら、桟橋が設置されている親水公園を活かした賑わいの創出を図りたい。 ○航路沿岸の資源・景観調査における反省点・改善点 ・今年度の調査結果を踏まえ、河川の水質改善やゴミの清掃活動、護岸の美化等に取組む地域活動団体との連携体制を構築し、航路の魅力化に一層努めていきたい。 ・調査を通じて、各地域でのボランティアガイドによる案内や地域産業の体験プログラムの存在などが明らかになってきたため、撫養航路とパッケージングしたPRや周遊ツアーの企画を行いたい。 ・撫養航路周辺には、四季を通して様々な資源が存在するが、秋から冬にかけての調査しか行えておらず、継続的に春～夏にかけての調査を実施したい。 ○新規航路の調査及びシンポジウムの開催における反省点・改善点 ・連携を深めたい、鳴門地域や北島町地域の住民や活動団体の方々に、撫養航路の魅力を中心に伝えてきておらず、様々な形で試乗体験の機会を増やし、連携の可能性に関する議論を深めていきたい。
(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
	○撫養航路の本格運航、船着場整備など(平成21年度～) 【取組内容】平成20年度実験運航航路において、新予約システムを活用した本格運航化、及び船着場整備等を推進する。 【目的】撫養航路乗船を通じて、水辺を楽しむ来訪者を増加させる。	1. 撫養航路の本格運航、新規航路の実験運航、船着場整備など(平成21年度) 【実施主体】NPO法人 新町川を守る会 【取組内容】平成20年度実験運航航路において、新予約システムを活用した本格運航(週2回以上運航)、平成20年度に拡大を検討した新規航路での実験運航(月1回程度)及び船着場整備等を推進する。 【目的】乗船料金の徴収による自立運航を目指すとともに、クルーズ船の乗船を通じて、水辺を楽しむ来訪者を増加させる。 【活用を希望する制度】上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額1,000万円)
	○新規航路の実験運航(平成21年度～) 【取組内容】平成20年度に拡大を検討した新規航路での実験運航を推進する。 【目的】撫養航路以外での水辺空間や地域資源を活用し、水際交流を拡大する。	2. 朝市の継続・拡大など(平成21年度以降継続) 【実施主体】NPO法人 新町川を守る会(連携:徳島市商工会議所、鳴門市青空市の会、鳴門ウチノ海新鮮市の会) 【取組内容】「朝釣り漁師市」の継続実施、及び「徳島わくわく日曜市」「鳴門市青空市」「鳴門ウチノ海新鮮市」との相互PR等を推進する。また、「朝釣り漁師市」に加え、朝穫れ野菜市など取り扱い品目を拡大していく。 【目的】撫養航路で朝市を連携し、朝から昼にかけての新しい徳島の楽しみを演出する。 【活用を希望する制度】上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)
	○周辺各地との広域的な連携による定期運航プログラムの充実(平成22年度～) 【取組内容】鳴門、北島及び藍住等、撫養航路によって結ばれる地域において、撫養航路乗船とセットで楽しめる体験メニューとのパッケージによる運航プログラムを構築する。 【目的】徳島～鳴門圏域における新しい周遊の楽しみ方を提案し、来訪者の宿泊や滞在を促進する。	3. 周辺各地との広域的な連携による運航プログラムの構築と実践(平成22年度～) 【実施主体】NPO法人 新町川を守る会(連携:朝市関係団体、観光関係団体、環境活動団体 ※今年度の交流会参加団体) 【取組内容】鳴門、北島及び藍住といった、撫養航路によって結ばれる地域において、撫養航路乗船とセットで楽しめる体験メニューとのパッケージによる運航プログラムを構築するとともに、モニターツアーを実施する。 【目的】徳島～鳴門圏域において、新しい時間消費のスタイルを提案し、来訪者の宿泊や滞在を促進する。 【活用を希望する制度】上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額700万円)
	○修景整備、景観条例検討(平成21年度～) 【取組内容】平成20年実施の資源調査及び景観調査を踏まえ、航路上の護岸や閘門施設の修景整備、さらには景観条例(美しい水辺空間条例)制定に向けた検討を推進する。 【目的】撫養航路における景観上の課題を把握し、水辺空間の魅力向上に向けた具体的方策を検討し、当事者、関係者等に働きかける。	4. 修景整備、景観条例検討(平成21～23年度) 【実施主体】(提案)…NPO法人 新町川を守る会、(支援・協力)…行政(徳島市、鳴門市、北島町、国土交通省、徳島県) 【取組内容】平成20年実施の資源調査及び景観調査を踏まえ、航路上の護岸や閘門施設の修景整備、さらには景観条例(美しい水辺空間条例)制定に向けた検討を推進する。 【目的】撫養航路における景観上の課題を把握し、水辺空間の魅力向上に向けた具体的方策を検討し、当事者、関係者等に働きかける。 【活用を希望する制度】上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)

水辺に人が集まるまちづくり～吉野川を挟んだ水際交流拡大プロジェクト～

(徳島県徳島市、鳴門市、北島町、松茂町の川辺地域)

NPO法人 新町川を守る会

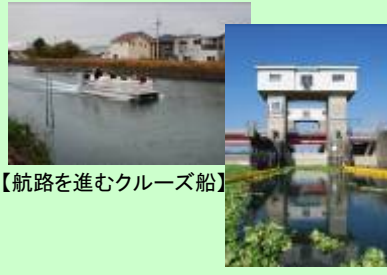
平成20年度 地方の元気再生事業
事業実施調書 参考資料

◆主な実施取組の内容◆

【取組①撫養航路の新設】

実施主体：NPO法人 新町川を守る会

実施内容：「撫養航路の実験的運航、発着場での浮き桟橋及び案内板設置」「航路の安全運航に向けた調査」「クルーズ船操縦者の育成」「航路のPR及び予約システムの構築」



【航路を進むクルーズ船】

【旧吉野川河口堰】



【桟橋】

撫養地区の桟橋

新町地区の桟橋



【案内板】

【取組③航路沿岸の資源・景観調査】

実施主体：NPO法人 新町川を守る会(連携:徳島市、徳島大学)

実施内容：「撫養航路を楽しんでいただくための航路沿岸の資源調査及び景観調査」「撫養航路乗船客へのアンケート調査」「撫養航路の見所を紹介するマップの作成」



水鳥の生息

樋門を通過

公園の水鳥

鳴門の海岸線

日常の光景

吉野川から見る夕日

コスモスの咲く堤防

さつまいも畑

【船上からの資源・景観調査】

【陸上からの資源・景観調査】

【徳島大学との連携によるマップづくり】

【取組②新町地区、撫養地区それぞれでの朝市の同時開催と連携】

実施主体：NPO法人 新町川を守る会(連携:徳島商工会議所、鳴門市青空市の会)

実施内容：「撫養航路と鳴門市青空市、ウチノ海新鮮市との連携及び徳島わくわく日曜市と連携した朝釣り漁師市の開催」「地元産品を使った船上で提供する軽食メニューの試作と提供」



【徳島わくわく日曜市】



【朝釣り漁師市/全6回開催予定】



【鳴門ウチノ海新鮮市】



【軽食メニューの試作】



【鳴門市青空市】



【遊山箱による軽食の提供】

【取組④新規航路の調査及びシンポジウムの開催】

実施主体：NPO法人 新町川を守る会(連携:徳島大学)

実施内容：「次年度以降航路を拡大するための調査(藍の館、十郎兵衛屋敷、小松島方面等)」「水辺のまちづくりをテーマとしたシンポジウム『撫養航路水際交流会』の開催」

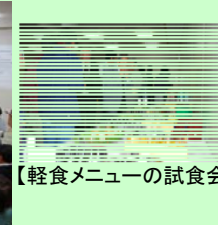
第1回交流会(鳴門市)：平成20年12月14日(鳴門地域からの60名を含む80名が参加)

第2回交流会(北島町)：平成21年1月24日(開催予定)

第3回交流会(徳島市)：平成21年2月28日(開催予定)



【第1回交流会開催の様子】



【軽食メニューの試食会】



【第2回交流会のチラシ】

◆取組実施による成果・今後の展開

- ◆当初予定の遊覧船乗客数(県外)1.5万人→実際の遊覧船乗客数(県外)約1.3万人(平成21年1月現在)
 - ・近隣(県内)のお客様で予約が一杯となり、県外の方を受け入れる余裕がこれまではあまりなかったのが現状であり、現在構築中のインターネットによる予約システムが稼動すれば、春～夏にかけて、県外からのお客様は増加すると予想される。
 - ・継続して運行中のひょうたん島クルーズについては、撫養航路の評判もあって乗船客は増加している。
- ◆当初予定のNPO会員数350人以上→実際のNPO会員数約300人(平成21年1月現在)
 - ・今年度まだ事業途中であり、積極的な会員募集活動を展開していないため、会員の増加は限定的であるが、鳴門市、北島町など各地で開催する交流会を通して、水辺空間の魅力向上に取り組む活動の具体的連携が今後深まっていくことが期待される。

◆運航体制やプログラムの強化による自立運航の構築

1. 撫養航路の本格運航、新規航路の実験運航、船着場整備(H21年度)
2. 朝市の継続・拡大など(H21年度以降継続)
3. 周辺各地との広域的な連携による運航プログラムの構築と実践(H22年度～)
4. 修景整備、景観条例検討(H21～23年度)